

村内等で行われた活動やイベントを紹介します ず〜むあっぷ「まちの風景」

【写真下】(左から)吉田公一さん(SCスマイルTOKAI副理事長)、大内正光さん(同副理事長)、塚原美光さん(同クラブマネージャー)、山田村長、久留主泰朗さん(茨城大学副学長・理事)、岩佐淳一さん(同大学全学教育機構副機構長)、越望実さん(同大学3年)、緑川楓馬さん(同大学4年)



村とスポーツクラブが食料品の配布で茨大生を応援 「東海村・SCスマイルTOKAI茨城大学生支援物資贈呈式」

7月16日、茨城大学水戸キャンパスで、村と東海村総合型地域スポーツクラブスマイル東海(SCスマイルTOKAI)が、コロナ禍や物価高騰の影響を受けている茨城大学生へ、米やレトルトカレー等を配布しました。これは、村と茨城大学の連携協力協定により、茨城大学の運動部系学生が学生指導者として同クラブのジュニアスポーツ教室に協力していることから、村と同クラブが連携して実施したものです。物資を受け取った学生たちからは「スポーツをする者にとって食事は大事。今回の支援はとてもうれしいです」と感謝の声が聞かれました。

【写真左から】山田村長、照沼さん、萩谷さん、藤原高彦さん(指導者)



日々の稽古で得た力を最大限に発揮！ 「空手で関東大会出場＆インターハイ出場」

7月22日、「茨城県少年少女空手道選手権大会」で3位に入賞し「関東空手道選手権大会」へ出場した萩谷陽花さん(舟石川小1年)と、「茨城県高等学校総合体育大会空手道競技会兼全国高等学校空手道選手権大会茨城県予選会」で優勝し、8月に愛媛県で開催される「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」への出場を決めた照沼青空さん(高3、舟石川)が、村長へ報告に訪れました。「将来の目標は全国優勝」(萩谷さん)、「インターハイでは、まず初戦に集中し優勝を狙いたい」(照沼さん)と話した2人。今後の活躍を応援しています。

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



夢をかなえた今、子どもたちの笑顔に
囲まれて毎日がとても充実しています

村松幼稚園

瀬谷好恵教諭

保育の仕事は、子どもが成長するだけでなく、自分も成長できる仕事です。これから多くさんの経験を積み、子どもたちと一緒に成長していきたいと思っています。

となど、さまざまな場面できがいを感ずるからです。また村松幼稚園は1学年に2クラスあり、子どもも職員も多いため、いろいろな人と関わる中で子どもを多面的に見ることができ、私自身の学びにもなっています。

幼稚園に登園するような子で、たくさんの人の前で発表するのは大の苦手。幼稚園に入る前は夢だった保育士。小学校の卒業文集に「将来の夢は保育士」と書きました。よく聞く話ですが、私もそのうちの1人です。近所に住む小さい子と遊ぶのが楽しかったことから、自然と将来の夢が保育士になっていました。保育系の専門学校に進学し、「どんな子どもにも寄り添えるようになりたい」という思いで、保育士、幼稚園教諭の他に小学校教諭、養護教諭の資格も取得しました。卒業学年までどの道に進むか迷いましたが、それでも保育の道を選んだのは、私自身の幼い頃の経験がきっかけです。

私は、毎日のように泣きながら幼稚園に入るような子で、たくさんの人の前で発表するのは大の苦手。幼稚園に入る前は夢だった保育士。小学校の卒業文集に「将来の夢は保育士」と書きました。よく聞く話ですが、私もそのうちの1人です。近所に住む小さい子と遊ぶのが楽しかったことから、自然と将来の夢が保育士になっていました。保育系の専門学校に進学し、「どんな子どもにも寄り添えるようになりたい」という思いで、保育士、幼稚園教諭の他に小学校教諭、養護教諭の資格も取得しました。卒業学年までどの道に進むか迷いましたが、それでも保育の道を選んだのは、私自身の幼い頃の経験がきっかけです。